

第3期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第5回）の模様について

日 本 証 券 業 協 会

＜会合の概要＞

本協会は、2020年2月26日（水）、第3期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第5回）を開催した。

第5回では、神田座長をはじめ合計25名の委員等が参加し、以下のとおり、2名の研究委員から中間発表が行われた。中間発表では、研究テーマの背景、研究テーマ候補からの変更点、各種分析から導き出された分析結果・推計の概要についての説明が行われた。

発表者：高橋研究委員（京都大学大学院
法学研究科准教授）

研究テーマ：「金融商品取引法上の課徴金制度のあり方」

ディスカッサント：藤林研究委員（西南学院大学
法学部准教授）



発表者：武田研究委員（東京大学大学院
工学系研究科准教授）

研究テーマ：「ネット炎上が株式市場に与える影
響についての研究」

ディスカッサント：鳥海 不二夫 氏（東京大学大
学院工学系研究科准教授）

意見交換では、高橋研究委員からの中間報告に対して、神田座長、ディスカッサントである藤林研究委員をはじめとした各出席者から、事例ごとの考察を踏まえた結論への提言、実務の視点からの課徴金制度に対する考え方や経済学の観点での不当利得に関する考え方への意見等、活発に意見が交わされた。また、武田研究委員からの中間報告に対して、神田座長、ディスカッサントである鳥海氏をはじめとした各出席者から、他の炎上研究との比較や炎上と株価の関係性に関する別視点からの意見のほか、実務で実際に行われている炎上への対策など、多様な意見交換が行われた。今後、両研究委員は、本会合における意見交換を踏まえ、論文完成を目指す予定である。

以 上